

# 定

三年

画数 8  
筆順  
オン  
フン

ㇿ ㇾ ㇽ ㇼ ㇻ ㇺ ㇹ ㇸ ㇷ ㇶ ㇵ ㇴ ㇳ ㇲ ㇱ ㇸ ㇷ ㇶ ㇵ ㇴ ㇳ ㇲ ㇱ

成り立ち

「家」の形をあらわし、「家」といういみの「宀」と「正」といふ「正」といういみの「正(1年44)」とを組み合わせて作った字で、「家の中が正しくおさまっている」といういみの字です。

今は、家にかぎらず、広くものごとが正しくおさまっていることを「定まる」といいます。

「定める(決める)」といういみにもつかわれます。【例】決定。確定。

また、「きまり」といういみにもつかわれます。【例】規定。

使い方

- ▽聖徳太子は、十七条の憲法を、定めました。
- ▽空模様<sup>そらもよう</sup>が定<sup>さだ</sup>まったら、出かける<sup>で</sup>としましょう。
- ▽時期<sup>じき</sup>は定<sup>さだ</sup>かではないが、何<sup>なん</sup>でも、来年<sup>らいねん</sup>ころには、プール<sup>プール</sup>がで<sup>で</sup>きる<sup>きる</sup>そう<sup>そう</sup>だ。

熟語例

- ▽決定<sup>ケツギ</sup>(はつきりと決めること。「野球<sup>ヤクキョウ</sup>の試合<sup>シゲ</sup>を、十月十日<sup>じゅうがつじゅうにち</sup>に行<sup>い</sup>うことに決定<sup>ケツギ</sup>した」などというふう<sup>ふう</sup>に、つかい<sup>つか</sup>ます。)
- ▽確定<sup>カクジツ</sup>(確実に決め定めること。「時期<sup>ジキ</sup>が確定<sup>ケツギ</sup>したら、あなた<sup>あなた</sup>にもお知<sup>し</sup>らせします」などというふう<sup>ふう</sup>に、つかい<sup>つか</sup>ます。)
- ▽規定<sup>キョウテイ</sup>(ものごとを、あるきまった形<sup>かたち</sup>に定めること。きまり。「この物<sup>もの</sup>さしは、規定<sup>キョウテイ</sup>どおりに作<sup>つく</sup>られている」などというふう<sup>ふう</sup>に、つかい<sup>つか</sup>います。)
- ▽定員<sup>テイイン</sup>(きまった人数<sup>にんずう</sup>。「この演奏<sup>エンソウ</sup>会場の定員<sup>テイイン</sup>は千五百人<sup>せんごひゃくご</sup>です」などというふう<sup>ふう</sup>に、つかい<sup>つか</sup>います。)
- ▽定命<sup>テイメイ</sup>(定<sup>さだ</sup>まった命<sup>いのち</sup>。仏教<sup>ぶつこう</sup>の説<sup>せつ</sup>で、前世<sup>ぜんせい</sup>の行<sup>い</sup>いの結果<sup>けつこ</sup>、決<sup>けつ</sup>められた<sup>られた</sup>という寿命<sup>じゆめい</sup>)

# 庭

三年

画数 10  
筆順  
オン  
フン

ㇿ ㇾ ㇽ ㇼ ㇻ ㇺ ㇹ ㇸ ㇷ ㇶ ㇵ ㇴ ㇳ ㇲ ㇱ

成り立ち

「王宮<sup>おうきゆう</sup>前の広場<sup>ひろば</sup>」のことを「庭<sup>テイ</sup>(宮庭)」といいますが、その「庭」と、「かたながれのやね」の形をあらわした「广」とを組み合わせて作った字で、「広場のうちでやねのかかったところ」をあらわした字です。

まい朝、天子は、王宮前広場に役人<sup>やくじん</sup>をあつめてめいれいを下<sup>くだ</sup>しました。それで「朝廷<sup>てうてい</sup>」といひます。しかし、雨がふるとできないので、やねをかけました。それで、「庭<sup>テイ</sup>」といひます。

しかし、王宮前広場にかぎらず、「広場」のいみにつかわれるようになり、さらに、せまくても、「家の前のあき地(にわ)」のいみにつかわれるようになりました。

使い方

- ▽わたしの家の庭<sup>いえ</sup>には、さまざまな花<sup>はな</sup>がさいています。とくに、春<sup>はる</sup>さきの庭<sup>にわ</sup>は、すてきです。わたしは庭<sup>にわ</sup>を見<sup>み</sup>て歩く<sup>ある</sup>のが大好き<sup>だいじやう</sup>です。
- ▽ぼくの愛犬<sup>あいけん</sup>タローが死<sup>し</sup>にしました。とても悲<sup>かな</sup>しかったのですけれど、死<sup>し</sup>んでしまったものはしかたがありません。裏庭<sup>うらにわ</sup>に埋<sup>う</sup>めて、いもうとと二人<sup>ふにん</sup>で、花<sup>はな</sup>をかざつてやりました。

熟語例

- ▽庭園<sup>テイエン</sup>(庭。とくに、木や花を植<sup>う</sup>えるのに、計画<sup>けいかく</sup>して作った庭<sup>にわ</sup>を言<sup>い</sup>います。「お隣<sup>おとな</sup>りの山田<sup>やまだ</sup>さんの庭園<sup>テイエン</sup>は、とても立派<sup>りつぱ</sup>です。とくにバラ園<sup>ばらえん</sup>は、本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に美<sup>うつく</sup>しくて、すてきです」などというふう<sup>ふう</sup>に、つかい<sup>つか</sup>います。)
- ▽庭前<sup>テイゼン</sup>(庭<sup>にわ</sup>さき。「庭前<sup>テイゼン</sup>の梅<sup>うめ</sup>がほころんだ」などというふう<sup>ふう</sup>に、つかい<sup>つか</sup>います。)
- ▽前庭<sup>ゼンテイ</sup>(家の前庭<sup>まへにわ</sup>。家の正面<sup>しょうめん</sup>の庭。前庭<sup>ゼンテイ</sup>には、日当<sup>ひあ</sup>たり<sup>り</sup>の良<sup>よ</sup>い所<sup>ところ</sup>を好<sup>この</sup>む木<sup>き</sup>を植<sup>う</sup>えた」などというふう<sup>ふう</sup>に、つかい<sup>つか</sup>います。【例】「後退<sup>こうたい</sup>」→「裏庭<sup>うらにわ</sup>」のこと。)
- ▽校庭<sup>コウテイ</sup>(学校<sup>がっこう</sup>の運動場<sup>うんどうじやう</sup>)